

事業番号	089
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	交通事故相談事業							担当部	市民生活部			
	会計区分	一般会計				事業類型	一般		担当課	市民安全課			
	事業期間	平成12年度以前 ~ 平成30年度以降				担当係	交通防犯係						
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		2 生活安全		3 相談体制を充実します						
		副目的	29-1										
	予算区分	款	2		項	7		目	4		大	3 中 2	
	根拠法令・個別計画												
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	交通事故の多発に伴い、無料の相談所を設置して事故処理のトラブルを少なくする。											
	内容 (手段)	市民の安定した生活を支えるため、交通事故に対して悩みやトラブル・諸問題の相談を受け、解決への助言を行った。 交通事故相談 火・木・金曜日 午前9時30分から午後4時 警察OBの相談員が対応											
	受益者負担	無											

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	0	0	0	0	
		正職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	1,569	1,526	1,467	1,526
		費用合計		千円	1,569	1,526	1,467	1,526
	対前年比		%		97.2	96.1	104.0	
財源	一般財源	千円	1,569	1,526	1,467	1,526		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	事故相談件数	件	目標		—	—	—
実績				77	69	97	
相談開催日	日	目標		—	—	—	—
		実績		132	150	148	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			事故相談件数	件	目標	—	—
			実績	77	69	97	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	昨年度より4割り増しで相談件数が増えてきており、小牧市役所で交通事故相談が行われていることが、市民に浸透してきているためと考えられる。相談としては、交通事故の被害者や加害者からの相談に対して的確なアドバイスを行い、被害者や加害者への精神的な負担の軽減が図られた。				
		事業実施における課題	更に多くの市民に、交通事故相談を実施していることを周知する必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	交通事故の被害者や加害者の相談窓口がなくなり、精神的な軽減はもとより、アドバイスなどの解決策ができなくなるため、縮小や廃止はできない。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	引き続き、交通事故の被害者や加害者が、早期に交通事故相談を受けられ、精神的な負担の軽減が図られるよう、事業を継続していく。				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	交通事故は、被害者や加害者を問わず、事故を起こしたことの悩み等の解決策が必要であり、心のケアが重要であるため、現状維持が必要である。					
	27年度以降の改善案	より広く周知できる方法を活用し、交通事故相談の周知を図る。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。相談日148日に対し、相談件数は97件であることから、相談体制の見直しを検討すること。